



南薩介護保険事務組合財政状況の公表について

地方自治法第243条の3及び南薩介護保険事務組合財政状況の公表に関する条例の規定により、南薩介護保険事務組合の財政状況を別紙のとおり公表する。

令和8年5月1日

南薩介護保険事務組合管理者 塗 木 弘 幸



財 政 状 況 の 公 表
(令和 7 年度下半期：令和 7 年 10 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

<目次>

1	令和 7 年度下半期の財政状況	1
	(1) 組合会計の予算状況	1
	(2) 組合会計の執行状況	1
2	構成市の負担の概況	2
3	一時借入金の状況	2
4	財産の状況	2
5	令和 8 年度当初予算の概要	3
	(1) 組合会計の予算規模	3

1 令和7年度下半期の財政状況

(1) 組合会計の予算状況

令和7年度の3月末現計予算は、2億5,604万9千円です。

◎歳入予算額の状況

(単位：千円、%)

区分	9月末 現計予算額	10月以降 補正額	最終予算額	構成比
1 分担金及び負担金	269,461	△26,182	243,279	95.0
2 繰越金	1,000	10,492	11,492	4.5
3 諸収入	1,278	0	1,278	0.5
合計	271,739	△15,690	256,049	100.0

◎歳出予算額の状況

(単位：千円、%)

区分	9月末 現計予算額	10月以降 補正額	最終予算額	構成比
1 議会費	282	0	282	0.1
2 総務費	270,517	△15,690	254,827	99.5
3 予備費	940	0	940	0.4
合計	271,739	△15,690	256,049	100.0

(2) 組合会計の執行状況

令和7年度予算に係る令和8年3月31日までの収入済額は、2億5,546万2千円で、最終予算額に対する収入率は、99.8%となっています。また支出済額は、2億2,203万6千円で、最終予算額に対する執行率は、86.7%となっています。

◎歳入の状況

(単位：千円、%)

区分	最終予算額	調定額	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	243,279	243,279	243,279	100.0
2 繰越金	11,492	11,492	11,492	100.0
3 諸収入	1,278	903	691	54.1
合計	256,049	255,674	255,462	99.8

◎歳出の状況

(単位：千円、%)

区分	最終予算額	負担行為額	支出済額	執行率
1 議会費	282	260	260	92.1
2 総務費	254,827	240,091	221,776	87.0
3 予備費	940	0	0	0.0
合計	256,049	240,351	222,036	86.7

2 構成市の負担の概況

組合財政のほとんどは、構成市（枕崎市、南さつま市、南九州市）からの負担金で賄われています。負担割合は、職員の派遣状況、要介護（要支援）認定申請件数を基に算出しています。

◎構成市の負担割合（7年度最終予算額）

（単位：千円、％）

	派遣職員分	共通管理費分	合計	構成比
枕崎市	19,891	32,138	52,029	21.4
南さつま市	30,204	57,742	87,946	36.1
南九州市	42,743	60,561	103,304	42.5
合計	92,838	150,441	243,279	100.0

3 一時借入金の状況

組合において、3月末日現在、借入金はありません。

4 財産の状況

組合において、3月末日現在、財産（物品）はありません。

5 令和8年度当初予算の概要

(1) 組合会計の予算規模

令和8年度組合会計の当初予算額は、引き続き経費節減、合理化を図りながら、支出の効率化に努め、業務の推進にあたるための予算措置を行いました。組合会計の総額は、前年度比約10.3%減の2億4,366万9千円となったもので、減額の主な要因は、前年度に介護認定支援システムの標準化への対応が完了したことによるものです。

◎令和8年度当初予算額

(単位：千円、%)

区分	令和8年度	令和7年度	比較	伸率
組合会計	243,669	271,739	△28,070	△10.3

【歳入】

歳入の大部分は、構成市（枕崎市、南さつま市、南九州市）からの負担金で、歳入の99.2%を占めています。

諸収入については、構成市以外の市町村被保険者に係る認定調査事務事業収入が主なものです。

(単位：千円、%)

区分	8年度予算額	7年度予算額	比較	伸び率	構成比
分担金及び負担金	241,702	269,461	△27,759	△10.3	99.2
繰越金	1,000	1,000	0	0.0	0.4
諸収入	967	1,278	△311	△24.3	0.4
歳入合計	243,669	271,739	△28,070	△10.3	100.0

【歳出】

歳出予算は、性質別と目的別に分けてみることができます。

まず、性質別にみてもみますと、人件費や扶助費など、支出を任意に削減できない「義務的経費」の割合が最も多く、79.6%を占めています。

目的別にみてもみますと、一般管理費に使われる「総務費」が、全体の50.7%を占めています。次に多いのが、要介護認定業務に使われる「民生費」で、全体の49.2%を占めています。

<性質別歳出の状況>

(単位:千円、%)

区分	8年度予算額	7年度予算額	比較	伸び率	構成比
義務的経費	193,965	199,333	△5,368	△2.7	79.6
人件費	192,165	196,133	△3,968	△2.0	78.9
扶助費	1,800	3,200	△1,400	△43.8	0.7
その他の経費	49,704	72,406	△22,702	△31.4	20.4
物件費	48,636	71,197	△22,561	△31.7	19.9
補助費等	68	209	△141	△67.5	0.1
その他	1,000	1,000	0	0.0	0.4
計	243,669	271,739	△28,070	△10.3	100.0

<目的別歳出の状況>

(単位:千円、%)

区分	8年度予算額	7年度予算額	比較	伸び率	構成比
議会費	253	282	△29	△10.3	0.1
総務費	123,436	131,257	△7,821	△6.0	50.7
民生費	119,980	140,200	△20,220	△14.4	49.2
計	243,669	271,739	△28,070	△10.3	100.0